

藤花

TOUKA

Vol.
8
1999
NOVEMBER



倉敷商工会議所青年部
倉敷市白楽町249-5
TEL086-424-2111(代)
発行人 土倉 一彦
編集 総務委員会
倉敷商工会議所Eメールアドレス
kcci@sqr.or.jp
発行 平成11年11月1日

ボーリング大会(第2回例会)

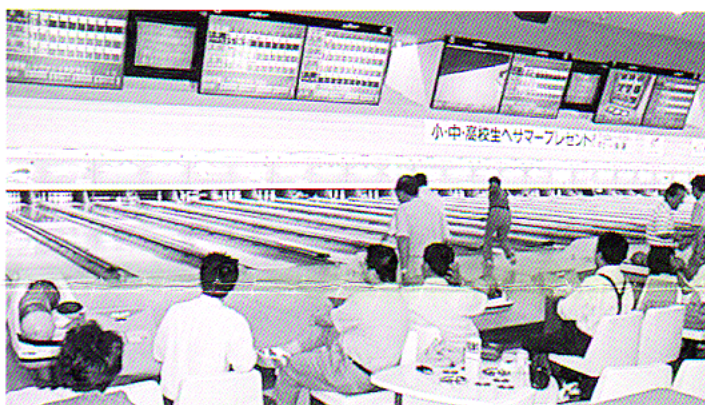
7月14日19時からサンフラワー
ボウルにて親睦委員会担当によりボ
ーリング大会を開催しました。

会員37名が参加し、和やかな雰
囲気の中、各人が腕を競いました。

なお、ボーリング終了後、会場を
かえて表彰式を兼ねた懇親会を開催
し多めに盛り上がりました。



懇親会会場



サンフラワーボウルにて



中山氏



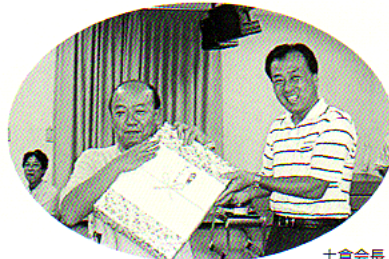
後藤氏



鴨井副会長



島田氏



土倉会長

経営のヒント

元銭商いは上商い

元手をかけたのだから、うんと儲けなければ、とい
うのが商売をする者の一般的な心理である。儲けは程々
でよいと思って商売をする者はまずいないといってよ
いだろう。

だが、1円でも多い儲けをと考えることが、商売に
無理を来すことになる。儲けたいのは当然の欲であるが、
この欲が問題なのである。

「元銭商い」とは、元金を損することなく、程々に

儲けることである。「上商い」とは、よい商売という
ことで、つまり元金を失わないで程々に儲けることが
よい商売ということである。人間の暮らしは何事も程々
がよい。それに満足できないからそれ以上を望む。そ
れがよくないというのだ。

ほとんどの商売の鉄則といってもよい。この言葉を
モットーとしているうちは、大小の企業はもちろん、
個人の商売としても倒産することはないといって差し
支えないだろう。

総ての商売に通じる金言がこの言葉である。